

科目名 Course Name	カラーコーディネートⅡ Color Coordination				ナンバリング No.	C4-017	
年次	2 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	飯塚 晃代						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。または栄養棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP6						
授業の概要と到達目標	○色彩を理論的に学ぶことで、職業に就く上で必要な色彩運用能力を身につける。①色のはたらき ②光と色 ③色の表示 ④色彩心理 ⑤色彩調和 ⑥配色イメージ ⑦ビジュアルの色彩 ⑧ファッションの色彩と配色 ⑨住空間のインテリアと色彩 ⑩景観色彩について、知識とセンスを身につけ感性を高める。色彩検定2級取得を目指す。 ○日本や世界の染織文化について、染色の種類や特徴、歴史や技法を学ぶと同時に、色彩的な観点から、自然が生み出す色の面白さや奥の深さを体感する。						
授業の方法	テキストと配色カードを用いて、体験的に色彩理論を理解する。テーマごとの課題にチャレンジすることで、色彩の理解と着実な色彩運用能力を高める。その都度、課題やカラー提案・調査など、レポート提出をする。 また、染織について図版や実物を提示しながら解説し、伝統文化の特徴について調査し、レポートを作成する。また、天然染料を用いた各種染色技法について、作品製作を通して理解を深める。						
学習成果	L01						
	L02	色彩を理論的に理解し、色彩心理やファッションの色彩などを説明することができる。					
	L03	色彩検定2級程度の知識を身に付け、それを生かして、販売関連業務であれば店頭では、色彩的視点から商品陳列、展示できる技能・技術をもち、接客では、カラーコーディネートについて理論的にアドバイスすることができる。また、色彩の知識を染色等の作品製作に生かすことができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートや作品等提出物は速やかに講評し、各自にフィードバックする。						
教科書／参考図書	教科書:書き込み式 色彩検定 2 級 (学芸出版社) ※新配色カード 199a を購入すること 参考図書:アパレル染色論(文化服装学院編)、色彩検定(文部科学省後援)公式テキスト 2 級編(色彩検定協会)、色の辞典(西東社)、色の教科書(Gakken) 授業内でプリント配布						
履修上の留意点やルール等	●カラーコーディネートⅠを修得した者 ●レポートや作品等の提出物の期限厳守 ●プリントを綴るファイル・のり・はさみを用意すること。●日頃から色に関心をもち、積極的に授業参加すること。 ●材料費は自己負担 ●事前・事後に費やすべき時間の目安はおおむね各回 180 分						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	欠席・遅刻がなく意欲的に授業に参加する。また、分かりにくい点があれば積極的に質問する。		10		
レポート/作品	レポートや作品等が、完成度の高いものになっているか評価する。期限内に提出されている。染色実習欠席の場合はレポート等を課す。		10	50	
発表					
小テスト					
試験	後期試験を実施し、色彩の理論が理解されているか、評価する。			30	
その他					
合 計			20	80	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(色彩の理論と染織文化について) ①色の働き ②光と色【課題】
	事前・事後学習	自然界に存在する色について関心をもつ。 プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。 テキストの練習問題やワークシートを計画的に進める。
2	授業内容	③色の表示 (マルセル表色系)④色彩心理と配色【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
3	授業内容	⑤色彩調和 ⑥配色イメージ【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
4	授業内容	⑦ビジュアルの色彩 ⑧ファッションの色彩【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
5	授業内容	⑨住空間のインテリアと色彩 ⑩景観色彩色の基礎知識【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
6	授業内容	色彩の理論についてのまとめ。色彩検定2・3級受験に向けた解説等。 次回からの染織に関する授業のガイダンス 染織概論(染物と織物について)
	事前・事後学習	多くの問題を解くことで、自身の弱点を知り、検定試験に向けて克服する。 テキストの練習問題やワークシートを計画的に進め、提出に備える。
7	授業内容	染料の歴史、染料の種類、染織に使われる色(媒染による違い) 染色技法①の説明
	事前・事後学習	染織文化について関心を持ち、調べたり美術館等に足を運んだりする。 次時の材料準備や作品の構想を練る。
8	授業内容	染色技法①【作品】 自己評価表の提出 染色技法②の説明
	事前・事後学習	作品を仕上げ、提出する。次時の材料準備や作品の構想を練る。
9	授業内容	染色技法②【作品】 自己評価表の提出
	事前・事後学習	作品を仕上げ、提出する。次時のレポートの材料を収集する。
10	授業内容	日本や世界の染織文化について、染色の種類や特徴、歴史や技法等を調べレポートにまとめる。
	事前・事後学習	レポートを完成させ、発表の準備をする。
11	授業内容	染織品に関するレポート発表【レポート】 染色技法③の説明
	事前・事後学習	レポートを仕上げ、提出する。次時の材料準備や作品の構想を練る。
12	授業内容	染色技法③【作品】 自己評価表の提出 染色技法④の説明
	事前・事後学習	作品を仕上げ、提出する。次時の材料準備や作品の構想を練る。
13	授業内容	染色技法④【作品】 自己評価表の提出 染色技法⑤の説明
	事前・事後学習	作品を仕上げ、提出する。次時の材料準備や作品の構想を練る。
14	授業内容	染色技法⑤【作品】 自己評価表の提出
	事前・事後学習	作品を仕上げ、提出する。次時の発表について構想を練る、
15	授業内容	成果物の発表。他者評価。講評。講義の振り返り 試験についての説明と復習 テキスト(練習問題・ワークシート)の提出
	事前・事後学習	学習事項のまとめ プリント及びテキストを完成させ提出する。 繰り返し色彩検定問題を解く。